

道路政策の変遷

資料3

	(戦後)	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年～現在
計画			<ul style="list-style-type: none"> ■全国総合開発計画(62) ■新全国総合開発計画(69) 	<ul style="list-style-type: none"> ■第三次全国総合開発計画(77) ■第四次全国総合開発計画(87) 		<ul style="list-style-type: none"> ■21世紀の国土のグランドデザイン(98) 	<ul style="list-style-type: none"> ■国土形成計画(08)
計画		第1～7次道路整備五箇年計画			第8～11次道路整備五箇年計画	新道路整備五箇年計画(98)	<ul style="list-style-type: none"> 社会資本整備重点計画(03) 社会資本整備重点計画(08)
建議答申等				<ul style="list-style-type: none"> ○建議(82) 「今後の道路整備のあり方」 ○建議(87) 「確かな明日へのみちづくり」 ・高規格幹線道路の要件 	<ul style="list-style-type: none"> ○建議(92) 「ゆとり社会のためのみちづくり」 ・地域高規格道路、ITS、道の駅、TDM ○建議(97) 「道路政策変革への提言」 ・評価システム、パートナーシップ 	<ul style="list-style-type: none"> ○中間答申(02) 「今、転換のとき」 ・弾力的な料金施策 ○建議(07) 「品格ある国土と快適な生活の実現に向けた道路政策」 	
		戦後の荒廃と泥道・砂利道の克服 近代道路行政の諸制度の構築		モータリゼーションの飛躍的進展、 高度経済成長の基盤としてのネットワークの構築			情報、環境、福祉等時代の 新たな要請への対応
主要な施策	○国道等の舗装や改良		【広域交通基盤の構築】 <ul style="list-style-type: none"> ○初の高速道路(名神)開通(63) ○7600kmのネットワーク計画(66) ○14000kmのネットワーク計画(87) ○地域高規格道路(93) ○弾力的な料金施策(03) ○追加ICの整備(04) 				
			【道路の信頼性の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ○第1回防災総点検(63)(飛騨川バス転落事故) ○道路橋設計基準改定(95) ○長寿命化修繕計画の策定(07)(阪神・淡路大震災) 				
			【交通安全対策】 <ul style="list-style-type: none"> ○交安法制定(66) ○交通安全3ヶ年計画開始(66) <事故死者数約1万7千人(70)> ○事故多発地点緊急対策事業(96) ○コミュニティゾーンの形成(96) ○バリアフリー法(00) ○事故危険箇所、あんしん歩行エリア(03) 				
			【環境・沿道対策等】 <ul style="list-style-type: none"> ○騒音環境基準(71) ○沿道法制定(80) ○NOx環境基準(78) ○電線類地中化開始(87) ○道の駅(93) ○京都議定書(97)(COP3) ○日本風景街道(07) ○自動車NOx法PM法改正(07) 				
			【交通円滑化】 <ul style="list-style-type: none"> ○TDM(93) ○渋滞対策プログラム(88) ○都市圏交通円滑化総合対策事業(99) ○交通結節点改善事業(00) 				
			【情報化の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ○ITS ○OVICSの開始(96) ○ETCの開始(97) 				
			【進め方等】 <ul style="list-style-type: none"> ○事業評価システムの導入(98) ○PI方式の導入(02) 				
		<ul style="list-style-type: none"> ○道路特定財源(53) ○有料道路制度(53) 					<ul style="list-style-type: none"> ○道路関係4公団民営化(05) ○一般財源化(09)
基準等	<ul style="list-style-type: none"> 現行道路法(52) 	<ul style="list-style-type: none"> <道路構造令改正> 設計速度、計画交通量の概念 歩道規定(58) 	<ul style="list-style-type: none"> 高速自動車国道等の構造基準(63) 	<ul style="list-style-type: none"> <道路構造令改正> 自動車専用道路の規定(70) 	<ul style="list-style-type: none"> <道路構造令改正> 環境施設帯(82) 	<ul style="list-style-type: none"> <道路構造令改正> 歩道等幅員拡大、橋梁の設計荷重引上げ(93) 	<ul style="list-style-type: none"> <道路構造令改正> 歩車共存道路(01) <道路構造令改正> 小型道路(03)

最近の建議等における施策体系

<1997>

「道路政策変革への提言」

H9.6.30建議

経済構造を改革し、活力ある社会・経済の形成に貢献するため、社会活動の効率性を高める

(1) 広域交通の確保

- ・高規格幹線道路、環状道路の整備
- ・ITSの推進
- ・空港・港湾アクセス道路の整備 等

(2) 地域自立の支援

- ・地域高規格道路の整備
- ・市町村連絡道路等の整備 等

(3) 渋滞の緩和

- ・都市圏交通円滑化総合計画の策定
- ・TDMの実施
- ・渋滞対策プログラム策定
- ・交通アセスメントの導入 等

(4) 都市の再生・再構築

- ・中心市街地の再生
- ・電線の地中化
- ・トランジットモールの導入
- ・社会実験の実施 等

質の高い生活環境を形成するため、地域や都市における社会の共有空間としての機能を高める

(5) 交通安全の確保

- ・事故多発箇所対策
- ・ITSの推進
- ・歩行空間のバリアフリー化
- ・交通結節点の整備 等

(6) 信頼性の高い道路空間の確保

- ・道路空間の健全度評価システムの構築
- ・広域的な幹線道路ネットワークの構築 等

新しいライフスタイル実現の鍵となる、環境保全や情報化等の新しい分野に貢献する

(7) 環境の保全・向上

- ・沿道環境の向上
- ・省エネルギー車、低公害車の普及促進
- ・公共交通機関の利用促進
- ・歩道や自転車道の整備 等

(8) 高度情報通信社会の支援

- ・情報ハイウェイの構築支援
- ・ITSの推進 (VICSによる情報提供、ETCの導入、AHSの早期実用化) 等

■政策の進め方

- ・評価システムの導入
- ・重点投資とコスト縮減 等

<施策分類>

安全・安心

空間機能

維持管理・更新

防災

環境・快適

ネットワーク、物流

政策の進め方、新技術の開発

<2002>

「今、転換のとき」

H14.8.2中間答申

安全で安心できる質の高い暮らしの実現

(1) 安全な生活環境の確保

- ・効率的・効果的な交通安全対策の実施
- ・道路の雪寒対策の推進 等

(2) 歩行者・自転車を重視し、生活環境の改善に資する道路整備の推進

- ・歩行空間のバリアフリー化
- ・自転車利用環境の整備
- ・無電柱化の推進 等

(3) 災害や救急医療等緊急時への備え

- ・リダンダンシーの高い道路ネットワークの構築 等

(4) 密集市街地の解消に資する都市計画道路の整備の推進

- ・密集市街地の解消 等

(5) 沿道空間との協働によるまちの賑わいの創出や美しいまちなみの形成

- ・公共空間の活用促進 等

(6) 更新時代への対応

- ・維持管理の技術開発
- ・アセットマネジメント 等

都市の再生と地域の連携による経済活力の回復

(1) 道路の機能分化と既存道路の有効活用による渋滞の解消

- ・環状道路の整備
- ・高速道路の利用高度化のための料金施策の導入 等

(2) 民間の建築活動の誘発など都市再生に資する道路の重点整備と都市計画道路の見直し

- ・都市拠点の形成
- ・無電柱化の推進 等

(3) 都市部における総合的な交通システムの構築

- ・公共交通機関の利用促進
- ・TDM施策の推進 等

(4) 連携を重視した地域ブロック圏・地域生活圏形成の支援

- ・生活幹線道路ネットワークの整備 等

(5) 地域のモビリティの向上

- ・スマートインターチェンジの整備 等

(6) 物流の効率化・情報化への対応

- ・空港・港湾へのアクセス道路の整備
- ・ITSの推進
- ・スマートウェイの推進 等

環境の保全・創造

(1) 地球温暖化の防止

- ・環状道路の整備
- ・幹線道路ネットワークの整備
- ・路上工事時間の縮減
- ・TDM施策の推進 等

(2) 沿道環境の改善

- ・低公害車の開発
- ・環境ロードプライシング 等

(3) 自然環境の保全・創造

- ・資源環境や多様な生態系に配慮した道路整備の推進 等

■政策の進め方

- ・強力的な料金施策の導入
- ・PIの導入
- ・PFIの活用 等

<2007>

「品格ある国土と快適な生活の実現に向けた道路政策」

H19.6.14建議

国際競争力の強化

(1) 国際物流に対応した基幹ネットワークの構築

- ・国際コンテナ通行支障区間の解消 等

(2) 空港・港湾とのアクセス強化

- ・空港・港湾への道路ネットワークの充実 等

(3) 物流システムの改善

- ・荷さばき駐車帯等の計画的な配置
- ・工事・規制情報や走りやすいルート等に関する情報提供 等

地域の自立と競争力強化

(1) 渋滞対策をはじめとした交通の快適性・利便性向上

- ・環状道路の整備
- ・TDM施策の推進
- ・集約型都市構造の形成
- ・路上工事時間の縮減 等

(2) 経済と暮らしを支えるネットワークの戦略的な整備

- ・幹線道路ネットワークの整備
- ・生活幹線道路ネットワークの整備 等

(3) 既存の高速道路ネットワークの効率的な活用・機能強化

- ・高速道路料金の引き下げ
- ・スマートインターチェンジの整備

(4) 魅力ある観光地づくりの支援

- ・日本風景街道、パーク&バスライド 等

安全で安心できる暮らしの確保

(1) 信頼性の高い道路ネットワークの形成

- ・防災対策の推進
- ・道路の雪寒対策の推進
- ・密集市街地の解消 等

(2) 安全・安心な道路空間の形成

- ・効果的・効率的な交通事故対策の実施
- ・住民参加型交通安全対策の推進
- ・歩行空間のバリアフリー化
- ・自転車利用環境の整備
- ・開かずの踏切等の解消
- ・ITSの推進 等

(3) 効率的な道路管理の実施

- ・予防保全の推進
- ・維持管理技術の開発 等

豊かな生活環境の創造

(1) 地球環境保全への積極的な貢献

- ・環状道路の整備、交差点立体化 等

(2) 沿道環境の保全・創造

- ・公共交通機関の利用促進、TDM施策の推進 等

(3) 地域の空間形成

- ・歩行空間のバリアフリー化
- ・無電柱化の推進
- ・日本風景街道
- ・道の駅
- ・土地区画整理事業、市街地再開発事業の推進 等

■政策の進め方

- ・選択と集中による効率的な事業執行
- ・供用目標の公表
- ・市民参画による道路網計画
- ・新技術の活用 等